



こたけ

議会だより

第 197 号

平成24年 8月1日

■発行 小竹町議会
 福岡県鞍手郡小竹町
 TEL 09496-2-1967
 FAX 09496-2-1140

■編集 議会広報編集委員会

■印刷 マツオ印刷株式会社



小竹祇園山笠

7月14日・15日・16日



小竹幼稚園 七夕飾り

6月25日 (役場ロビーにて)

もくじ

- ◆ 主な議案…………… 2
- ◆ 平成24年度補正予算 …… 2
- ◆ 一般質問…………… 3
- ◆ 議会が同意した人事…………… 6
- ◆ 請願・意見書…………… 6

6月定例会

(平成24年6月7日～平成24年6月15日)

初盆会の御香典や寄付は 禁じられています。

ことしもお盆の季節を迎え、初盆のご家庭には、重ねてお悔やみ申し上げます。

議員の初盆会での御香典や、諸行事等での寄付行為は、公職選挙法で禁止されています。

6月定例会の主な議案

6月定例会は、6月7日から6月15日まで、会期9日間の日程で開かれました。
条例案・補正予算案等の議案が提出され、審議の結果、賛成多数で可決しました。

外国人登録法の廃止及び住民基本台帳法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例を制定

外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の一部改正により、平成24年7月9日から外国人住民の方も、住民登録をするようになりました。
この法律の廃止及び改正により、外国人登録法に関する町の5つの条例が一括して改正されました。

●改正された条例

- ・小竹町課設置条例
- ・小竹町印鑑条例
- ・小竹町手数料条例
- ・小竹町敬老祝い金支給条例
- ・小竹町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例



基地周辺障害防止対策事業に係る委託契約に同意

この契約は、役場裏排水機場から国道の下に排水樋管を通し、遠賀川へ放流するための工事の施工委託です。
また、この工事は施工箇所が国の河川管理区域内であるため、国土交通省九州地方整備局に3億812万2500円で工事を委託し、道路の開削を生じない推進工法で施工されます。

財産の取得

小竹町消防団第4分団の消防車は、購入から19年が経過し、老朽化が進んでいることから、昨年度購入の第1分団の消防車と同型の車両を新たに購入するものです。

また、購入するポンプ車は、直方・鞍手広域消防小竹出張所の勤務人員の減少により、町消防団の初期消火の重要性を考慮し、900ℓの水槽付ポンプ車です。

予算委員会の主な質疑

問 小竹駅西口開発事業化検討業務委託料330万円の内容は。その中で町民を交えた検討も実施するののか。

答 平成14年に駅西口の土地利用計画図を策定しました。開発が遅れているので、町の財政状況も考えて、より現実的な、事業化できる計画を策定するためのものです。
また、基本的に選定委員会で選定した業者への業務委託になります。

問 災害時の避難場所の備品購入は各自治会で行うのか。

答 自主防災組織を設立している10地区については、昨年度の予算で配備しています。また、各消防団の水防倉庫にも保管しています。

今年度もその他の自主防災組織と協議し、順次購入したいと考えています。

名簿については、昨年度実施の調査を基に、今後の災害時の情報提供について、検討していきます。



問 本年度のプレミアム付商品券の発売予定日と内訳は。

答 本年度の発売予定期間は、9月1日から平成25年2月28日までです。

一般商品券については、昨年度の2倍の予算を計上しています。

住宅用リフォーム商品券は、昨年と同額です。

昨年の住宅リフォーム商品券の販売件数は16件です。

平成24年度 補正予算

可決

一般会計...732万円

そこが知りたい 一般質問

日本人の死因の四番目は、高齢者の肺炎です。肺炎の原因は70歳を超える肺炎球菌によるものが一番多いそうです。

国内で接種が広がらない要因は、「肺炎球菌の知名度が低い」「健康保険が使えない」等が上げられます。

副作用に関しては、インフルエンザの予防接種と同じくらい安全だと考えてもいいそうです。

このワクチンは、抗生物質の使いすぎで効かなくなった耐性菌にも効果があるとされています。

そして、その持続効果は、5年程度あるそうです。

宮若市でも今年度から助成が始まりました。

命を守り、医療費を抑制するためにも、本町においても早急に実施すべきです。



○高齢者に対する肺炎球菌ワクチン助成を 代読、代筆支援を 行つては

大安 美佐代 議員

今、本町は急速に高齢化が進んでいます。今まで何不由なく出来ていたものが、出来なくなり日常生活に支障をきたすものが多くなりました。

書類や郵便物を読めないばかりに、あとで困ったことになることも多くあるのではないのでしょうか。

プライバシーの観点から誰にでも代読や書類の手続きを頼むわけにはいきません。

そこで、代読・代筆を希望される方に行政が責任を持ってサービスを実施すれば、安心して気兼ねなく頼むことが出来るのでは。

簡単な行為のように思えるのですが、全国的には、まだ実施されているところは少数です。小竹町として率先して始められてはどうか。

松尾町長 高齢者に対する肺炎球菌ワクチンの接種の必要性は理解しています。

先の民主党の厚生労働部門会議でも子宮頸がん用ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種については平成25年度以降も実施すると提言しています。

町としては、住民の健康保持、増進のため、成人用の肺炎球菌を含めて、世界保健機構が推奨するワクチンすべてについて、国が主体となって接種の財源確保をすべきだと考えています。

今後、県を通して国に要望していき、実施に向けて検討していきます。

町内の高齢者や障がい者の方が読み書きに困ることがない町づくりは、当然考えなければならぬと思います。

誰もができることではありません。個人情報の問題もあるので、行政が代読、代筆のサービスを提供することは、情報のリアフリー化につながると思います。

地域福祉の観点から、今後、社会福祉協議会と一緒に調査研究をしていきます。

勝野駅は、宮田線が平成元年に廃止されたことに伴い、利用者は急激に減少し、南口に小さな駐輪場があるものの、駐車場がなく、北口には駐車場や駐輪場がないため、通勤・通学の利用者はさらに減少しています。

しかし、今後の勝野駅は、小竹団地の企業立地の推進や宮田線代替輸送道路が平成24年度に完了することから、通勤・通学の利用者が増加する見込みであり、駅周辺の環境整備を急ぐ必要があります。

○JR勝野駅周辺の 環境整備を



吉野 欽也 議員

① 快速列車の停車について
 福北ゆたか線の筑豊本線間（折尾駅～桂川駅）で、快速列車が停車しないのは勝野駅だけです。利用者の利便性の向上を図るため、宮若市と直方市と連携し、勝野駅に快速列車が停車するようJRに強く要請すべきでは。

② 駐車場・駐輪場の整備について
 勝野駅において、南口ではリバーサイドパークや民有地を活用し、北口では今橋水路から流入してくる水を防止する措置を講じ、道路整備と併せて駐車場・駐輪場の整備をしていただきたい。

③ 勝野駅の名称変更について
 勝野駅は、明治45年に開業し、この名称は、当時は小竹町が勝野村であり、村名からとって勝野駅となり、歴史と伝統のある名称です。

しかし、駅の名称は、地域のシンボルであり、地域住民が身近で親しみがもてるよう「ひょうたん駅」と名称を変更してはどうか。

松尾町長

① JR九州の筑豊、篠栗鉄道事業部長からは、勝野駅の一日あたりの利用者数や篠栗線との列車の連絡調整等の問題を指摘されています。

今後、兵丹・宮田線の開通により乗降客は増えてくると考えられるので、これを理由として勝野駅の快速電車の停車について、JR側にさらに働きかけていきます。

② 兵丹・宮田線の道路改良事業は、今年度中に完了したいと考えています。この事業に関連して、駅周辺の整備計画については、北口周辺の土地利用計画を平成14年度に策定しました。

今回の道路改良事業の地元説明会では水害問題も議論となりました。

町としては、当初の計画図を基本として、兵丹地区の水害問題も含めて、地元と協議し、駅周辺の整備を促進していきたいと思えます。

③ 勝野駅の名称について、時代の変化ということは理解しています。

地域の要望も踏まえ、快速電車の停車の件を含めてJRに陳情していきます。

○子育て支援について

○鉱害復旧田の調査を



宮野 一男 議員

現在の学童保育は、平日は19時まで、土曜日は17時までとなっている。
 今年度から年少扶養控除がなくなり、児童手当も減額され子育て世代には大変つらいときだと思つう。
 年少扶養控除の廃止などで、少なからず町の税収は増えている。
 子育て世代から納めていたお金は、子育て世代に返還すべきである。その方法として、保護者からの要望でもある土曜日の学童保育を

19時まで延長する考えはないか。

今、農業委員会では、耕作放棄地の解消に努めているが、解消が進む一方で鉱害復旧田の問題が浮上している。

長い間の懸案であった鉱害田が復旧し、農家は安心して物づくりが努めてきたが、最近様子が変わってきている。

水田の傾きが、本町全域で報告されている。まさに、鉱害は終わっていないと言える。

このまま放置すれば耕作放棄地になるのではと危惧する。

農業委員会では、実態調査を計画しているが、それに対する支援と問題解決に全力をあげるべきでは。



畦畔が沈下している復旧田

松尾町長 年少扶養控除が廃止された財源を、学童保育の延長に充てるということですが、今後、財政面も含めて社会福祉協議会と連携をとりながら十分に協議をしていきたいと思えます。

鉱害復旧田の調査は圃場に限りず道路、水路、河川、住宅も含めて鉱害復旧事業で整備してきた時代がありました。実際には平成12年に臨時石炭鉱害復旧法が失効した後、国の考え方は受益者負担でやらざるを得ないであろうという話になっています。

ただ、浅所陥没が残っていて、NEDO（旧石炭鉱害事業団）に申請したとしても、簡単には受け付けてはもらえないということが実態です。これについては、町としても危惧しています。

農業委員会において、鉱害復旧田の修復が必要な箇所等について調査して、その結果をまとめて報告していただきたいと思います。

それを基に、国、県に陳情活動を進めていきます。



○通学路の安全対策を

吉野 慎一 議員

新学期早々から、集団登下校している小学生の列に車が突っこむ痛ましい事故が続いている。

この5月20日に平野文部科学大臣から、無謀な車の再三の事故を重くみて学校、警察、道路管理者が一致して通学路の安全管理に全力を挙げよう求められたが、本町での対応は。

町内保護者から、より安全を確保するため、歩道にガードレールの設置を強く求められている。しかし町内には、ガードレールを設けようにも、道路幅が不足する箇所もある。

通学路の総点検を行い、問題箇所を洗い出していきたい。

集団登下校は防犯や交通安全対策上の効果があるとされている。地域住民が通学路に立つ「スクールガード」、校



集団登校の様子

区によつては既に実施されているが、3小学校すべてで政、地域が一体となり取り組む必要があるのではないか。

町としては、通学路の安全確保を今後どう取り組むのか。北小学校区の御徳3区と1区の児童併せて24名程度が集団登下校している。

子どもたちの列が10数メートルになり、車のスピード違反に危機感を感じる。

県も安全対策に取り組んでいるので、ガードレールの設置等、早急に対応方を要望する。

松尾町長 交通安全対策については、町としても、職員全員で春と秋の交通安全街頭指導を実施しています。

通学路の安全対策について、日頃から児童生徒の登下校時に地域の方々や防犯推進委員会、交通安全協会等の団体の方々における見守り活動には、感謝しています。今後も町、関係団体を挙げて、児童、生徒の安全確保に努めていきたいと思っています。

通学路については、年間を通してPTA等の関係団体から危険箇所の改善要望を受けていますが、危険箇所を優先的に対応しているのが現状であります。

現在、県道の宮田・小竹線の歩道整備の工事も施工されているので、通学路の安全確保にもつながると考えます。

ご指摘の北小学校区の通学路については、県道であり、ガードレール等の整備について、強く直方県土整備事務所に要望していきたいと思っております。

また、スピード違反の車両については、直方警察署にパトロールの実施強化をしていただくよう要望していきたいと思っております。

○RDF事業の問題点について ○原発ゼロの中での節電対策は ○住宅用太陽光発電に助成制度を

広瀬 早美 議員



いない。

夏場を想定して電力需要は日本全体で0・4%しか不足しないことも明らかである。夏の電力需要ピーク時に、地域経済に影響することなく節電で夏場を乗り切ることが大切である。

こんな時こそ自治体は、住民の先頭に立つて節電運動を進める役割を担うときではないか。今まで以上のクールビズを実施しないか。太陽光発電装置をつけた家庭では、電力の節約に努めるようになる。また電力の地産地消が進み、遠距離送電ロスが少なくなる。

本町を取り囲む直方市、宮若市、飯塚市すべての自治体で補助金の助成制度がある。突然の停電時でも、太陽が出ている昼間なら発電した電力を使えるメリットがある。余剰電力の買い取り制度で現在は1キロワットあたり42円で10年間買い取ってもらえる。

本町でも電力自給率を上げ、町内の購買力を向上させ、地域経済の活性化に貢献する「太陽光発電補助金制度」創設の考えはないか。

国内すべての原発が停止しているが、電力不足は起きて

松尾町長 震災がれきの受け入れの対応は、県を通して、じん芥処理施設組合に要請があります。今現在、県からがれきの処理についての要請はあつていません。

要請があつた場合は、地元への説明責任が最重要課題になると考えています。

大牟田リサイクル発電所加入の7施設組合の10年延長は、全体ではまだ最終的に決定していません。

宮若市外二町じん芥処理施設組合では10年延長を行う方針で協議しています。負担金の増に対する行革、地元負担の減をどうするか検討しています。

本庁での節電対策は、地球温暖化対策実行計画に基づき、クールビズ、冷房の設定温度を28度にするなどの取り組みをしています。

住宅用太陽光発電補助金制度は、今年度発行予定の住宅用リフォーム商品券で対応していきます。



議会が同意した人事

人権擁護委員(再任)

梅野 師子 氏



住 所 赤地八九五番地の一

生年月日 昭和10年12月5日

(赤地区9組)

編集後記

議会広報編集委員となつて1年半が経ちました。はじめの頃は、議員の意見や質問を町民の皆さんにより分かりやすく、正確に伝えるにはどういふ書き方が良いのか、いろいろと悩むこともありまし

た。最近では、研修会で学んだことや、編集委員の先輩からのご指導もあつて、だいぶ慣れてきました。さて、今回、初めて編集後記を書くことになりました。先日、婦人会の発足に関わる機会がありましたので、その

ことについて書かせていただきます。

婦人会の発足に当たつては、一からのスタートだったので、会員の募集は大変であつたと聞いていますが、4月の発会式には73名もの会員が集まりました。

婦人会は、会員の自覚を高める文化教養、家庭教育の推進、女性防火クラブの設立、町内各種事業への参加などの計画を立て実施していくよう

です。婦人会の活動が、町の進める「絆社会の構築」の一助となり、元気で希望あふれる小竹町を期待しています。

(編集委員 峯岡 均)

陳 情・意見書

- ◎ 拉致問題の早期解決を求める
意見書採択の陳情 不採択
- ◎ 消費税率10パーセントへのアップと
社会保障の切り捨て中止を求める意見書 否 決
- ◎ 基地対策予算の増額等を求める意見書 可 決

次回の定例会は、

9月6日(木) 開会予定です。

※事情により変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

議会を傍聴してみませんか

傍聴場所は、役場3階議事堂内傍聴席です。

また、テレビ放映による傍聴は役場1階ロビー、総合福祉センターロビーで放映します。